29 方城行政区 金田行政区

今後ますます求められる地域の力。 福智町には82の行政区があり、そ の各区の代表者によって、区長会が 組織されています。いま、新町にふ さわしい地域のあり方を模索してい る区長会6人の役員のみなさんに、 それぞれの思いをうかがいました。

郷土愛の育みを大切に

地域間交流で一体感の創出を

● 新春トーク 区長会が考える 地域づくり



理事 長崎 三夫さん(赤池 赤池代表区長 / 赤池第 18 区区長

地域に密着した区長として住民 と町政に寄与するため、その調整 をしたいと考えています。地域活 性化は「地域を良くしよう」とす る「助け合いの精神」が原点です。 少子高齢化が進むなか、地域が果 たす役割は特に重要。そのために も地元の声をしっかりと把握しな ければならないと思っています。

理事 福本 富也さん(神崎 神崎代表区長/金田第9区区長

南木では故郷に帰ってくる若者 が増え、子どもの数も増えていま す。故郷に魅力があり愛着がある。 先祖を守り家を守る。そういう心の 育みを今後も大切にしたいと思い ます。福智町という単位では、ま だまだ地域同士の交流が少ないと 感じています。地域間の親睦や町 全体の一体感の創出が重要です。

域への愛着の度合いに比例します。

進するためには、町政による積極的な

住民主体のまちづくりを推

情報提供とともに、

まちづくり懇談会

かそうとする「助け合いの精神」 ひとりの知識や能力を地域のために生

が必

要です。 そして、

その意欲は郷土や地

信頼関係と助け合いの類 を高めるためには、

発揮が不可欠な要素となっています。 新しい公共」の形成には、 ぼと「絆」の大切さ。いの精神や郷土愛、

地域の多様な主体によって担われる 追求していく必要に迫られています。 活力と自立ある地域づくりを それぞれにしかできない役割 行政と住民が共に手を携える かつての公共投資の一辺倒で 地域力の



理事 加来 晋治さん 弁城 弁城代表区長/方城第2区区長

区長とはどうあるべきか、どう すればみなさんの役に立てるかと いうことを念頭に置き、後世にプ ラスとなるような区長会組織とな れるよう、みなさんにお知恵をお 借りし、協議が進めばいいなと思っ ています。 今後ば 合併して良かっ た」といえる「明るいまち」を創 造すべきと考えます。

協働と、



副会長 太田 繁秋さん上野 上野代表区長 / 赤池第1区区長

上野区では老人会とタイアップ した上野小学校の清掃活動をはじ め、道路への植樹など、各区の協 働によるボランティア活動を行っ ています。今後もみなさんの意見 を集約して、地域の発展のために 尽くし、地域のあり方についての 方向性を協議して、前向きに努力 していきたいと思います。

とが求められます。

こうした連携や地

課題を解決する力は「地域力」

福祉や防災・子育て・教育など様々な はれ、この力が高まることで、

眯題解決につながり、

社会は、

行政に限らず、

地域における

碌々な主体が相互に連携し、地域課題

地域の活性化を図るこ

の主体となる取り組みが、 どの活動により、

に期待されています。

これからの地域

行政主導のまちづくりでは立ち行かな

しかかっています。

これまでのような

い時代をむかえているのです。

一方で、

地域やボランティア団体な

副会長 八代 久さん(金田 金田代表区長/金田第13区区長

合併だけでは町の発展はないと 思います。むしろ、旧町のときよ りも難しい状況です。きめ細かな 地域づくりや行政ができないため、 不満を解消するには当分かかるの ではないでしょうか。行政に声が 届きにくくなっている今、だから こそ、地域の意見を集約する区長 会の役割は大きいと考えています。

共サービスを維持することが難しくな

行政による課題解決力も限界にさ

しい財政事情を背景に、 これまでの公

う悪循環が続いています。

以が全国的にその多くを担ってきた結

さらに地域の活力が低下するとい

ズが多様化・高度化するなかで、

基づくものでしたが、

地域の課題

国が行うという 「補完性の原理」

地域でできないことは町・県・

地域でできることは地域で



会長 加藤 美明さん(伊方 伊方代表区長 / 方城第 38 区区長

過去のように官は官、民は民と いう感覚では真に住みよい町はで きません。全てを官民共同で考え、 行政も民間の心に立つ中で住民自 治の心が芽生え、官民協働による 行革が進むものと考えます。区長 会は、意見は意見として行政に申 し上げ、地域代表としてできる限り 行革に協力したいと考えています。

によってはコミュニティの維持自体が

困難となることも懸念されます。

求められる地域力と協働行政主導の限界にある今

FUKUCHI 4

つ一体となる新しいまちづくりは、

なっています。

地域の特性を生かしつ

状況において欠かせないキ 近隣、そして職場や家庭と、 政と住民の関係はもとより、

> あらゆる 地域内、

を町政に反映できる機会の充実が求め

そのためにも、

バブリックコメントなど、住民の声

政区長会は大きな役割を担っています。

何事においてもそうですが、

くりにおいては信頼関係が欠かせませ

強い信頼関係という「絆」